

KT師の重賞本命と見解【21.10.30】

アルテミスステークス

シェーングランツや完成前のリスグラシューが勝ちきれてしまうように、
緩いタイプの中距離馬が走りやすいレース。
トニービン持ちの中距離質の未脚も決まりやすいです。

本命はフォラブリューテ。

父は中距離の G1 血統エピファネイア。母系にトニービン。

相手はミント、バルクレスト。

ミントもフォラブリューテと同じくサンデーサイレンスの 4×3 の
エピファネイア産駒で母系にトニービン。中距離指向の馬。

バルクレストもトニービン持ち。母系にも同系のカラムーン。

ドゥラメンテ 2 年目の産駒。初年度に比べ牝馬の成績はやはり上昇しています。

以下、ロムネア、シンシアウィッシュまで。

スワンステークス

近年の阪神芝 1400m の重賞はディーブ系、Pサンデー系が好調。

マイル以上重賞実績馬が走りやすいのも芝 1400m 重賞の傾向。

馬場や阪神芝 1400m 重賞の傾向から内枠も有利になりそう。

本命はハウオウアマゾン。

母父Pサンデー系。父は母方を引き出すキングマンボ系。

休み明けで激走した後、反動で凡走を繰り返している馬。今回は休み明け。

リレーションシップは先行して厳しい流れに持ち込み
持続力を発揮するルーラーシップ産駒。

重賞の流れになるのは歓迎。

条件戦では控える競馬をして勝っていますが、

本来はもっと厳しいペースで先行した方が力を発揮できる馬。

まだまだ伸び代を残しています。この枠で積極的に乗れば。

以下ディーブの血を持つマイル以上重賞実績馬。

内寄りの枠のルークズネスト、ダノンファンタジー。